地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和7年4月28日

提出区分	実績	整理番号	8	課題区分	C
横断的な課題	収益性の高い農業・国際競争力の高い観光業の振興				
地域重点政策	北信州の自然を活かした、収益性の高い農業・国際競争力の高い観光業の振興				北信地域振興局
実施機関	北信地域振興局		担当課	所属	商工観光課
事業名	広域サイクリング推進事業			電話	8-247-252
				E-mail	hokuchi-shokan@pref.nagano.lg.jp
事業の概要等	目的 (目指す姿)	信越自然郷を中心とした近隣エリアとサイクリングによる広域観光の推進に取り組むことで、グリーンシーズンの観光誘客を図る。			
	現状と課題	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 信越自然郷は県内におけるサイクルツーリズムの先進地域として認知。 長野・北信サイクルツーリズム推進会議を通じて、県域を越えたサイクルツーリズム研究会など、信越自然郷の枠組みを超えた広域連携が始まっている。 西日本最大のスポーツ自転車フェスである「サイクルモードライド大阪」で地域振興局・市町村等が連携したサイクルツーリズムのPRを実施。455名がブース来訪するなど一定の成果あり。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 飯山線や長野電鉄におけるサイクルトレインのスタートなど、サイクルツーリズムの機運は高まっており、長野・北信サイクルツーリズム推進会議でそれぞれの取組・課題を共有しながら、広域的な取組を継続して推進することが必要。 関西圏での北信地域の知名度が低く、「サイクルモードライド大阪」でも特にグリーンシーズンに北信地域を訪れたことがないという声が多い。 <p>、北陸新幹線の敦賀延伸を好機とした関西圏からの一層の誘客促進のため、「サイクルモードライド大阪」を活用し、地域振興局や市町村が連携したPRを継続して行うことが必要。</p>			
内容	概要	<p>【広域サイクリング推進事業】</p> <p>○近隣エリアとサイクリングによる広域観光の推進に取り組むことで観光誘客を図る。</p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 長野・北信サイクルツーリズム推進会議の開催 日時：令和7年1月24日(金) 13:30~16:30 場所：飯山市文化交流館なちゅら 多目的ルーム1 (飯山市) 講師：小口良平氏 (Japan Alps Cycling Project副代表) 田中淳氏 (飯山市経済部広域観光推進課主査) アドバイザー：竹内大悟氏 (株)ドリームシップ 松山参治氏 (おおぞら自転車クラブ) 会議内容：地域の魅力発掘方法や自転車を使った地域振興の成功事例に関する講演会 地域の課題解決を目指したワークショップ 参加者数：32名 			
	(変更後の内容)	<ul style="list-style-type: none"> サイクルモードライド大阪出展 日時：令和7年3月1日(土)、2日(日) 9:30~17:00 場所：万博記念公園 (大阪府) 出展内容：信越自然郷と共同出展。 Japan Alps Cycling Project及び北アルプス地域振興局、新潟県と連携して広域での情報発信も実施。 ブースに信越自然郷の大型地図及び写真を展示し、地域の魅力を視覚的に発信。 ブース来場者数：588名 サイクルモード東京出展 日時：令和7年4月19日(土)、20日(日) 予定。 場所：東京ビッグサイト (東京都) 出展内容：信越自然郷と共同出展し、新潟県と連携して当エリアの情報発信を実施。 その他：年度当初開催イベントで出展申込締切及び出展料支払い期限が令和6年度中。 令和7年度予算での支出では間に合わない出展料のみ令和6年度予算から支出。 			
事業期間	令和6年5月		～	令和7年3月	
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考	
	広域サイクリング推進事業	・近隣エリアと協働してサイクリングに関する会議や研修会、イベントへの出展を行い、グリーンシーズンの観光誘客を図る。	1,128,402	講師謝金33,075 (@3,150×3.5H×3名)、講師費用弁償7,997、職員旅費・宿泊費411,982 (1泊8名、2泊1名)、公用車燃料・消耗品費59,878、展示用大型地図71,500円、宅配料2,794、大阪出展料143,990、推進会議会場利用料等7,360、資料印刷費58,176 東京出展料 (R7) 331,650	
	合計		1,128,402		

指標及び達成状況	成果指標	目標値	成果	達成状況
	サイクルツーリズム推進会議等の参加者アンケート満足度（5段階中4以上）	80%	83%	☒ 達成 ☐ 一部達成 ☐ 未達成
	CYCLE MODE大阪ブース来場者数(パンフレット配布数)(R5実績:455)	480名	588名	
事業実績・成果	<p>・長野・北信サイクルツーリズム推進会議では、講師として諏訪市などで自転車事業を展開している小口良平氏及び飯山市役所で自転車事業等を担当している田中淳氏を招聘、ワークショップアドバイザーとして長野・北信地域の自転車民間事業者等を招いた。官民それぞれの立場での意見交換は好評で当日アンケートにて満足度「良い」以上83%。地域全体で自転車をどう観光に活かすかが共通の課題となっていることが分かった。</p> <p>・関西方面のサイクリストが多く集まるイベント「サイクルモードライド大阪」に信越自然郷、長野地域振興局と共同出展した。パンフレットの配布や写真でのPR等を対面で実施し、隣接する新潟県と連携したスタンプラリーやトークショーを開催したところ、前年度を上回るブース来訪者数を獲得(ブース来場者数588名)、関西方面での当地域の認知度向上が図られた。</p>			
今後の方向性	<p>・引き続き長野地域振興局と協働し、サイクルツーリズムに関する研修会や意見交換の場を設け、広域でサイクルツーリズムに係る取組を推進していく。</p> <p>・長野・北信サイクルツーリズム推進会議で明らかになった課題を解決するため、令和7年度はモデル地域を設定し、サイクルツーリズムに係る課題解決モデル事業を実施し課題解決の糸口を探る。</p> <p>・首都圏から短時間で来られる利点を活かし、令和7年度は首都圏での情報発信を積極的に行うためにサイクルモード東京に出展する。</p>			